

履歴書

2012 年 4 月 30 日現在



ふりがな いとう しょうへい		
氏 名		
伊藤 翔平		
出身地	年齢	※
東京都	(満 29 歳)	① 男 ・ 女
参加した NICE ボランティア	分野	
国際ワークキャンプ・週末ワークキャンプ 等	福祉・教育・文化 等	
場所 (国・市町村まで記入)	フランス・Crazannes、日本・鎌倉市 等	満足度
		100%
受け入れ団体	フランス・SJ、NICE 等	活動のやりがい度
		100%

こんなボランティアでした
・フランスの小さな村に古くからある石でできた洗濯場があり、現在は使われていないが後世に残したいという事で、村の小学校に約三週間滞在し、修繕しました。
・鎌倉市にある児童養護施設の子ども達をキャンプに招待したり、各国の児童虐待について専門家を交えて情報交換等を行いました。このキャンプから週末ワークキャンプも生まれました。

年齢	経歴
18 歳	酪農学園大学 環境システム学部 入学
20 歳	国際ワークキャンプ（フランス）参加。
21 歳	国際ワークキャンプ（フィリピン）参加。帰国後「児童虐待防止チーム」結成。
22 歳	国際ワークキャンプ（鎌倉）参加。同時に週末ワークキャンプ（鎌倉）スタート。
24 歳	和泉短期大学 児童福祉学科 入学
26 歳	児童養護施設「こどものうち八栄寮」 入職
29 歳	現在に至る。
趣味・特技	旅行、料理、スポーツ ・ ツラかどうか見た目だけで判断できる。
座右の銘	私がいい日にしてみせる
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
特になし。	

記入上の注意 1：鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。2：数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。
3：※印のところは、該当するものを○で囲む。

志望動機
(フランス) 海外に行ってみたかった。
(フィリピン) アジアの国に行ってみたかった。
(鎌倉) 日本の児童虐待の実情を知り、自分でも何かしたかった。

行くまでに心配だったこと (どう乗り越えたか)
・ 言葉 (仲良くなろうという気持ち！伝えようという気持ち！)
・ 提案を受け入れてくれる児童養護施設がなかった。(名簿の上から順に連絡していった。)
・ 食事を作る・食べる場所が確保できてなかった。(ホームレスのおじさん達と公園の争奪合戦・コンビニに炊飯器を持って行き、コンセントを借りた。)

家族・友人・学校・職場の反応 (私はこうやって説得した！)
中1レベルの英語しか分からないのに大丈夫かと心配されました。でも後押ししてくれました。

ワークキャンプとその後の人生 (進路決定、参加経験が役立っていること等)
初め酪農の大学に進んだのですが、フィリピンの児童養護施設での国際ワークキャンプに参加した事や秋合宿で児童虐待の専門家の話を聞いた事で日本の児童虐待について興味をもちました。その後、鎌倉の国際ワークキャンプの立ち上げに関わった事で児童養護施設でのボランティアを長く続ける事になりました。その過程で自分のできる事ややりがいを見出し、保育士の資格を取得し、現在児童養護施設の職員として働いています。海外でも日本でも国際ワークキャンプを通じてあらゆる経験をした事で多少の事では驚かないし、へこたれない強い精神力が養われ、今の仕事でも多いに活かされています！

成長ダイアグラム ※	これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪
<p>成長ダイアグラムは、同心円5つと放射線6本の図です。中心は1。放射線は1) 実務的な知識・スキル, 2) 人・社会とやっていく力, 3) 自分でやっていける力, 4) 進路・目標, 5) 社会への考えや価値観, 6) その後の人生に活きた人脈。各放射線は同心円1-5で評価されている。</p>	<p>中学一年で英語を諦めた私が海外に行くなんて無謀にも程がありました。だけども思い切って参加した結果、様々な人や価値観に触れる事ができ、広い視野を得る事ができました。その視野で改めて自分の夢を探した時、今までとは違うものが見えてきました。今はその夢の仕事に就く事ができ、本当に幸せだと思っています。それに NICE でできた仲間は私にとって宝です。悩んでいるなら参加した方がいいですよ。踏ん切りつかない人、最後は勢い！！</p>

※成長ダイアグラム (5＝とても得るものがあつた・良くなった。4＝まあまあ得るものがあつた・良くなった。3＝前と変わらなかった。影響なし。2＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。)